

シクリスムエコーNo.117 2005年3月号

2005年ツアー・オブ・ニュージーランド ……	2	広報誌「シクリスムエコー」定期購読のご案内 ……	8
2005年UCI女子ロード・ワールドカップ第1・2戦 ……	2	UCIサイクルサッカー・ワールドカップ最終戦 ……	8
2005年ジャロング・ツアー ……	3	2005年JCF競技規則集 完成! ……	8
第10回西日本チャレンジサイクルロードレース ……	4	平成16年度第1級公認審判員の承認 ……	8
JCF強化合宿 ……	6	平成16年度名誉審判員の承認 ……	8
ロード・ナショナルチーム春期ヨーロッパ遠征 ……	7	平成16年度全国自転車競技指導者研修会 ……	8
アンチ・ドーピング検査規則に係る処分について ……	7	連盟の動き ……	8

西日本チャレンジA-Eクラス優勝の野寺(左)と前半積極的に動いた阿部



2005年女子ダウンアンダー・サマー・ロード・シリーズ



ツアー・オブ・ニュージーランド総合3位の沖(右端)

<ツアー・オブ・ニュージーランド>

ツアー・オブ・ニュージーランドが3月2日から4日までの3日間、4つのステージでおこなわれ、沖美穂(JPCA/ラ・ピスタ)が見事個人総合3位に入った。

レースが動いたのは第2ステージ

3月3日の第2ステージは距離117km。スタート地点から25kmまでは、強風による危険回避のため集団走行(ニュートラル)となり、25km地点から正式にスタートした。

その直後にアタックが始まり、沖を含めて3人の逃げが決まった。95km地点まで3人で逃げ、その後2人が追いついて、最後5人でのゴール勝負となり、沖は見事3位となった。その結果個人総合成績も3位になった。

3月4日、最終第4ステージはタイムトライアルで、優勝の行方は第3ステージで逃げた上位5人のタイム争いとなった。

12kmで争われた個人タイムトライアルで沖は22位。その結果、15秒差の個人総合3位となった。

優勝は地元ニュージーランドのSELL Catherineで、合計タイム5時間13分33秒。2004年世界チャンピオンのドイツのアント(ARNDT)は最終ステージで1位となったものの、個人総合成績は6位に終わった。

90名スタートで60名完走。団体総合では日本は5位となった。

沖選手のコメント

「強風にあおられ自分は体が小さく不利だけど、やるだけやった。」

<ワールドカップ第1戦>

昨年に引き続き、メルボルン(ジロング)の同じコースで、2005年ワールドカップ第1戦が行われた。1周14.9km×8周=119.2km。途中800mの上り坂がヶ所あり、海岸に面したコースのため風が吹くと厳しいコースだ。

AM10:00、93名がスタート。気温22度~28度(湿度40%)で風も弱く、穏やかな気候の中で行われた。

昨年3位に入賞した沖には、大いにチャンスのあるコースだ。チーム力のあるチームのレース展開を見ながら上位入賞を目指す。森本、唐見、宮崎はポイント獲得を目指す。レース前に左足を捻挫した嶋田は、残念ながらレースに参加しなかった。

オーストラリアの選手が集団をコントロールするレース展開の中、1周目の上り坂で、宮崎が集団から遅れるが、平坦コースに入り集団に復帰する。しかし3周目に宮崎は再び集団から遅れ、3周目で失格となる。

メイン集団から単発のアタックはあるが、逃げは決まらない。5周目に3名の選手が集団から抜け出し、1分差をつける。ラスト2周の上り坂で、沖を含む8名の選手が逃げていた3名の選手を吸収し、逃げの展開となったが、人数が多いためとまらず逆に後続集団に追いつかれ、ラスト周回は大集団のままゴール勝負となった。

チーム力のある選手が先頭を固める中、最終コーナーを上手く抜け出した沖は、ゴール前惜しくも伸びきれず5着に

終わった。(UCIポイント27点獲得)

ゴールを制したのは、Gilmore Rochell(ニューサウスオーストラリア)、2着には昨年優勝したWood Oeone、3着はBates Katherine、森本25位、唐見54位、初参加の宮崎は3周リタイアに終わった。(高橋 松吉)

<ワールドカップ第2戦>

ニュージーランドの首都ウエリントン、ど真ん中にある国会議事堂前をスタートする、1周6.2km×20周=124kmで行われた。

風の街と言われるだけあり、朝から曇り空の強風となり、選手にとっては厳しいレースになった。

2周目に入り、1列棒状となった集団から、沖を含む7名の選手が抜け出し、メイン集団を引き離す。トップ集団に入っているチームが、メイン集団をコントロールするレース展開となり、3分30秒まで差が開く。

トップ集団から2名が脱落し、5名のトップ集団となったところで、ラスト7周、メイン集団とのタイム差は2分。逃げのグループに入っていない世界選手権チャンピオンのいるNurnbergerチームが必死に追い始める。

ラスト4周、一気に差を詰めて1分差としたメイン集団は更に加速。ラスト3周に入りトップ集団が吸収される。18名となったトップ集団からアタックが繰り返される。逃げて疲労困憊の沖はトップ集団に必死に食らいついてゆく。



ラスト周回、ゴール手前3kmの最後のり坂で2名の選手が集団から抜け出しそのまま二人のゴールスプリントとなりSusanneが優勝。

100km逃げた沖はゴール勝負で9位に終わったが、レースの主導権をとったレース展開に悔いの無い戦いだった。

メイン集団で頑張っていた森本は、強風にあおられて転倒し集団から遅れ、45位でゴール。唐見はラスト7周回、フロントメカが動かなくなり集団から脱落。修理し再び走り出すが周回遅れでリタイア。宮崎は5周目に集団から脱落し周回遅れでリタイア。

(高橋 松吉)

[競技結果]

2005年シクロン グア- (UCI2.2)
(2005/2/22-24 オーストラリア・シクロン)

第1ステージ (2/22 8kmタイムトライアル)

1	Natalie Bates	AUS	11:35:38
2	Alexis Rhodes	AUS	+0:00:62
3	Amy Gillett	AUS	+0:03:53
23	沖 美穂	JPN	+0:33:73
35	唐見実世子	JPN	+0:40:99
44	森本 朱美	JPN	+0:50:24
81	宮崎 杏菜	JPN	+1:48:03

第2ステージ (2/22 33.2kmクリテリウム)

1	Oenone Wood	AUS	59:29
2	Joanne Kiesanowski	NZL	same
3	Katherine Bates	AUS	same
13	沖 美穂	JPN	same
46	森本 朱美	JPN	+01:50
48	唐見実世子	JPN	+01:58
76	宮崎 杏菜	JPN	+04:00

第3ステージ (2/23 76km)

1	Tina Mayola Pic	USA	2:02:00
2	Rochelle Gilmore	AUS	same
3	Oenone Wood	AUS	same
20	沖 美穂	JPN	same

59	唐見実世子	JPN	same
77	森本 朱美	JPN	+01:40
79	宮崎 杏菜	JPN	+05:37

第4ステージ (2/24 114km)

1	Oenone Wood	AUS	3:01:50
2	Susanne Ljungskog	SWE	same
3	Mirjam Melchers-Van Poppel	NED	+00:35
17	沖 美穂	JPN	+03:01
44	森本 朱美	JPN	+11:15
69	唐見実世子	JPN	+18:12
76	宮崎 杏菜	JPN	+31:12

個人総合成績

1	Oenone Wood	AUS	6:14:25
2	Susanne Ljungskog	SWE	+00:46
3	Judith Arndt	GER	+01:06
17	沖 美穂	JPN	+04:04
65	森本 朱美	JPN	+16:04
67	唐見実世子	JPN	+21:36
76	宮崎 杏菜	JPN	+43:15

2005年UCI女子ロードワールドカップ 第1戦
(2005/2/27 オーストラリア・シクロン)

1	Rochelle Gilmore	AUS	3:11:26
2	Oenone Wood	AUS	3:11:26
3	Katherine Bates	AUS	3:11:26
5	沖 美穂	JPN	3:11:26
25	森本 朱美	JPN	3:11:26
54	唐見実世子	JPN	3:11:26
	宮崎 杏菜	JPN	DNF
	嶋田 広子	JPN	DNS

2005年グア-オブ・ニュージ-ランド (UCI2.2)
(2005/3/1-3 ニュージーランド)

第1ステージ (3/2 44km)

1	Tina MAYOLO-PIC	USA	1:10:40
2	Oenone WOOD	AUS	same
3	Joanne KIESANOWSKI	NZL	same
7	沖 美穂	JPN	same
7	唐見実世子	JPN	same
7	森本 朱美	JPN	same
85	宮崎 杏菜	JPN	+06:44

第2ステージ (3/3 117km)

1	Nicole FREEMAN	ISR	2:34:32
---	----------------	-----	---------

2	Katie BROWN	AUS	same
3	沖 美穂	JPN	same
6	唐見実世子	JPN	+03:43
6	森本 朱美	JPN	+03:43
	宮崎 杏菜	JPN	時間切れ

第3ステージ (3/3 45km)

1	Susanne LJUNGSKOG	SWE	1:09:17
2	Trixi WORRACK	GER	same
3	Sarah DUSTER	GER	same
6	沖 美穂	JPN	+00:04
6	唐見実世子	JPN	+00:04
6	森本 朱美	JPN	+00:04

第4ステージ (3/4 12km) 個人タイムトライアル

1	Judith ARNDT	GER	17:44
2	Sara CARRIGAN	AUS	+00:19
3	Melissa HOLT	NZL	+00:28
22	沖 美穂	JPN	+01:33
26	森本 朱美	JPN	+01:36
55	唐見実世子	JPN	+02:46

個人総合成績

1	Sell Catherine	NZL	5:13:33
2	Brown Katie	AUS	+00:06
3	沖 美穂	JPN	+00:15
26	森本 朱美	JPN	+04:03
44	唐見実世子	JPN	+05:13
	宮崎 杏菜	JPN	DNF

団体総合成績

1	New Zealand A	15:47:18
2	Nobilii Rubinetterie - Menikini Cogees - Italy	+01:09
3	Western Australia	+01:38
4	Equipe Nurnberger Versicherung	+02:06
5	日本	+02:54

2005年UCI女子ロードワールドカップ 第2戦
(2005/3/6 ニュージーランド・ケリク)

1	DE GOEDE Suzanne	NED	
2	SERUP Linda Melanie	DEN	+00:01
3	MAYOLA PIC Tina	USA	+00:10
9	沖 美穂	JPN	+00:10
44	唐見実世子	JPN	+05:15
45	森本 朱美	JPN	+06:14
	宮崎 杏菜	JPN	DNF

末永くお付き合いいただくために。



シマノ製品をご愛用いただきまして
ありがとうございます。
シマノではユーザーの皆様へ、当社製品と
末永くお付き合いいただけるよう、
各種補修用パーツをご用意しております。

- 製品についている取扱い説明書をご使用前に必ずお読みください。
- 機能保証のために分解できないパーツもあります。
- お近くの自転車店でご相談下さい。別途送料がかかる場合があります。
- 在庫状況により、品切れの場合もあります。予めご了承下さい。

SHIMANO
www.shimano.com

XBC001-A

第10回西日本チャレンジサイクルロードレース大会



ゴール後の野寺



日本版「春を呼ぶレース」西日本チャレンジサイクルロードレース大会も10回を重ねた。シーズンはじめの足馴らし、選手同士の小手調べというところもあるが、各カテゴリー春らしい陽気の中、広島県中央森林公園サイクリングロードにおいてそれぞれの熱い走りがみられた。

A J 36.9km(12.3km×3周)

ジュニアクラスのこのレース、高体連所属の選手にとっては翌週の選抜大会もあり、足馴らしと言うより、かなり仕上がった足でレースに臨んだ選手も多いのではなかろうか。レースは2周目を終えた時点で先頭集団は8人に絞られた。最終的に6人の争いとなったがゴールで1歩抜き出したのは鶴川大輝(香川・高松工芸高校)であった。

A F 24.6km(12.3km×2周)

女子のクラス。参加選手の中では森本朱美(鳥取・鳥取湖陵高校教員)が抜き出した感がある。1周終えた時点で森本についてこれたのは豊岡英子(広島・bicinoko.com)と小野山恵美(愛媛・equipe U Racing)だけであった。最終的に豊岡と森本の二人になったが、森本が貫禄の走りで優勝した。

A U 36.9km(12.3km×3周)

U23のクラス。1周通過時に先頭は

三瀧光誠(鹿児島・鹿屋体育大学)、小野寺健(京都・キナンCCD)、石井陽、辻善光(共に京都・立命館大学)の4人に絞られた。2周通過時には三瀧と小野寺の一騎打ちの様相を呈していたが、ゴールを制したのは三瀧であった。

A M 36.9km(12.3km×3周)

マスターズのクラス。先頭集団は1周通過時19名、2週目通過時10名と絞られていった。その中でもエリートクラスでも十分に走れると前評判の松井久(大阪・シマノドリンキング)が前評判通り余裕で優勝を飾った。

A E 61.5km(12.3km×5周)

レースは序盤から動き、日置大介(キナンCCD)、阿部良之(シマノレーシング)、向川尚樹(ネックス)、盛一大(愛三工業レーシングチーム)らが先頭グループを形成する。3日目には大内薫・廣瀬佳正・野寺

秀徳のシマノレーシング3人が加わり向川が先頭集団から脱落。結果、シマノレーシング4人に愛三工業レーシングチーム、キナンCCD一人ずつとなりシマノ勢有利となった。その中から阿部が積極的に飛び出す。シマノレーシングの押さえの中、盛も反応し阿部の逃げは決まらない。阿部が吸収されると、代わりに野寺が飛び出し30秒程度の差を保って最終周回に入る。野寺の逃げをサポートしていたシマノレーシング勢だが、盛、日置の両選手に先頭野寺を追う力が残っていないのを見極めると、シマノレーシングの大内、廣瀬が飛び出し1-2-3体制を作る。それに品川



A-E、展望台への登りでレースを引っ張るシマノ勢



A-Mの遅れ集団を超越す
A-Uのウィナー三瀧(左)と小野寺



A-Fの先頭を行くウィナー森本(右)



A-Mの勝者、松井



両手を挙げてゴールするA-Jの鷓川

も続き、シマノレーシングが野寺を頭に1-4位を独占する結果となった。

(高橋 真)

[競技結果]

第10回西日本チャレンジサイクルロードレース大会

(2005/3/20 広島・中央森林公園)

A-E (61.5km)

1	野寺 秀徳	JPCA	シノ	1:34:50
2	大内 薫	JPCA	シノ	1:35:02
3	廣瀬 佳正	JPCA	シノ	1:35:04
4	品川 真寛	京都	シノ	1:35:04
5	田中 光輝	愛知	愛三工業	1:35:17
6	三船 雅彦	JPCA	ミヤハル	1:35:20
7	広瀬 敏	石川	愛三工業	1:35:21
8	阿部 良之	JPCA	シノ	1:35:22
9	盛 一大	愛知	愛三工業	1:35:22
10	野口 忍	京都	村ノCCD	1:35:26

A-U (36.9km)

1	三瀧 光誠	鹿児島	鹿屋体育大学	56:06
2	小野寺 健	京都	村ノCCD	56:07
3	石井 陽	京都	立命館大学	57:28
4	辻 善光	京都	立命館大学	57:32
5	村上 純平	鹿児島	鹿屋体育大学	57:33
6	長 義幸	京都	同志社大学	57:33
7	片山 正和	鹿児島	鹿屋体育大学	57:33
8	飯塚 航	群馬	中央大学	57:34
9	柏原 剛	京都	立命館大学	57:34
10	秋山 尚徳	大阪	PCサイクルクラブ	57:34

A-J (36.9km)

1	鷓川 大輝	香川	高松工芸高校	58:41
2	竹之内 悠	京都	立命館宇治高	58:43
3	福田 真平	神奈川	藤沢総合高校	58:43
4	伊藤 雅和	神奈川	法政第二高校	58:43
5	大園 健太	奈良	北大和高校	58:48
6	中村 弦太	広島	広島国際学院	58:48
7	市山 研	神奈川	法政第二高校	59:20
8	伊丹 健治	群馬	前橋育英高校	59:21
9	佐野 洋継	京都	花園高校	59:33
10	菱田 浩二	京都	花園高校	59:34

A-M (36.9km)

1	松井 久	大阪	シノレーシング	1:00:10
2	中田 尚志	京都	NEX COLNAGO	1:00:15
3	榎本 太郎	福岡	KANA Q-MAX	1:00:15
4	山崎 範行	岡山	チーム岡山	1:00:16
5	松本 哲	兵庫	グラデール・播磨	1:00:16
6	黒枝 美樹	大分	クイックモーター	1:00:21
7	佐藤 貴巳	大分	リトル・ポポ	1:00:24
8	国末 明	山口	シノ初級	1:00:27
9	横内 淳	徳島	SEPTCENTS	1:00:50
10	三村 尚	岡山	チーム岡山	1:01:50

A-F (24.6km)

1	森本 朱美	鳥取	鳥取湖陵高・教	43:34
2	豊岡 英子	広島	bicinoko.com	43:45
3	小野山恵美	愛媛	equipe U.R.	44:18
4	酒井 真清	大阪	Testachi-R.	45:53
5	池田 桂子	大阪	Testachi-R.	48:54
6	仲 真里子	兵庫	西宮市役所	50:07
7	藤村ちはる	広島	チームス	51:35
8	加藤 紀衣	大阪	Testachi-R.	52:35
9	山口麻里子	福井	BALBA R.	52:52
10	森 智恵美	京都	北桑田高校	53:44

JCF 強化合宿



Track

2005年トラック世界選手権大会のための事前強化合宿が、3月16～18日までグリーンドーム前橋において実施され、内田、及川、成田、渡邊の4選手が参加した。



2005 トラック世界選手権大会派遣選手団

派遣日程 2005.3.20-29

大会日程 2005.3.24-27

開催場所 アメリカ・ロサンゼルス

派遣選手団

監督 ゲーリー・ウェスト (JCFチームディレクター)

コーチ 班目 秀雄 (JCF強化ヘッドコーチ)

メカニック 森 昭雄 (JCF強化スタッフ)

マッサージ 柳 浩史 (JCF強化スタッフ)

通訳 増田恵美子 (JCF強化スタッフ)

総務 関口 美裕 (JCF選手強化部)

選手 内田 慶 (JPCA 栃木)・及川 裕奨 (JPCA 岩手)

成田 和也 (JPCA 福島)・渡邊 一成 (JPCA 福島)

Road

一方、ロードの強化合宿とメディカルフィットネスチェックが、平成17年3月13日から20日まで、順天堂

大学及び千葉県鴨川周辺道路で行われた。

参加選手は、アンダー23の松村光浩(日本大学)、女子エリートの萩原麻由子・宮崎杏菜(共に鹿屋体育大)と男子ジュニアの角令央奈(日生第三高)・土屋壮登(川越高)・湯浅徹(京葉工高)。



広報委員会からのお知らせ

広報誌「シクリスムエコー」定期購読のご案内

平成14年度より「シクリスムエコー」個別郵送ご希望の方には郵送手数料の一部をご負担いただいております。平成17年度につきましてもご負担をお願いすることになりました。皆様のご理解をお願い申し上げます。なお17年度の発行回数は10回を予定しております。また、勝手ながら年度途中でのお申し込みにつきましても4月号からの1年分とさせていただきます。

平成17年度 1,200円(1年分)

同封の郵便振替用紙(振込手数料JCF負担)で、お近くの郵便局よりお申し込みください。各加盟団体(都道府県車連)事務局や一部自転車関連施設にもこれまで通り送付いたしますので、ご来訪できる方はご利用ください。また、これまで通り、JCFホームページにも掲載いたしますのでご覧ください。< <http://www.jcf.or.jp> > なお、JCF維持会員(個人1万円・法人5万円/年間)の皆様へは無料でお送りいたします。

UCIサイクルサッカー・ワールドカップ最終戦

2004年UCIサイクルサッカー・ワールドカップ最終戦が3月12日ドイツ・ベースヴァイラーで行われた。2004年はヨーロッパを中心に8戦がおこなわれ、昨年10月には大阪でも開催された。今回の最終戦にはアジア地区代表として日本から、ケルビム東京の都築勝巳・松田鋼が出場し、8位となった。

[競技結果]

2004年UCIサイクルサッカー・ワールドカップ最終戦
(2005/3/12ドイツ・ベースヴァイラー)

- 1 Spieler Steve Pfaffenberger
・Mike Pfaffenberger(RSV Sangerhausen)
- 2 Pavel Smid・Petr Skotak(Favorit Br[inn 1])
- 3 Jiri Hrdlicka・Miroslav Berge(Favorit Br[inn 2])
- 8 都築勝巳・松田 鋼(ケルビム東京)

2005年
JCF競技規則集 完成!

(財)日本自転車競技連盟2005年度版の競技規則集が発行されました。ご購入希望のお問い合わせは、各加盟団体へお問い合わせください。

平成16年度第1級公認審判員の承認

平成16年度トラック・ロード第1級公認審判員講習会として、実習ならびに講習を開催し、検定の結果、下記の者を競技運営委員会において合格と判定し、平成16年度第3回理事会で承認された。

権瓶 修也(新潟)・中西 裕幸(徳島)
中田 将次(熊本)・大島 環(学連)

平成16年度名誉審判員の承認

平成16年度名誉審判員について下記の方の申請があり、競技運営委員会において審査の結果、承認された。

佐藤 章吉(東京)・横尾 明(東京)・森 清一(群馬)

平成16年度全国自転車競技指導者研修会

本連盟主催の有資格指導者対象の研修会が、3月12日(土)に日本自転車会館で開催された。

奈良県榛原高校自転車部監督・徳地末広氏による「初心者・ロードレースの指導法」と岐阜県岐南工業高校自転車部監督・山崎好弘氏による「初心者・トラックレースの指導法」が行われた。

連盟の動き(2月下旬~3月中旬)

- | | | |
|-------|-----------------------------------|-----------------------|
| 3月 1日 | 平成16年度第3回総務委員会 | |
| 5日 | 公認審判員講習会マウンテンバイク2級・3級 | 於：東京・自転車会館(～6日) |
| 9日 | 平成16年度第7回常務理事会 兼 強化本部会 | |
| 11日 | 平成16年度第1回アンチドーピング委員会、アンチドーピング作業部会 | |
| 12日 | 平成16年度全国自転車競技指導者研修会 | 於：東京・自転車会館 |
| 15日 | 平成16年度第3回理事会 | |
| 20日 | 2005トラック世界選手権大会日本代表選手団出発 | 於：アメリカ・ロサンゼルス(帰国 30日) |
| 23日 | ジャパンカップ推進委員会・実行委員会 | 於：栃木・宇都宮市 |



シクリスムエコー No.117 2005年3月号

発行/財団法人日本自転車競技連盟

発行人/岩 楯 昭一

編集人/加 藤 昭

編集事務局/財団法人日本自転車競技連盟 事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-15 日本自転車会館内

TEL 03-3582-3713 FAX 03-5561-0508

URL <http://www.jcf.or.jp/>

JCF協賛スポンサー



森永製菓株式会社健康事業部



株式会社サテライトジャパン